

# 令和3年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	江北町立江北小学校 児童数 559人	担当者名	中原 洋子
住所	郵便番号 849-0501 佐賀県杵島郡江北町大字山口1128番地	電話番号	0952-86-2251

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/privacy/privacypolicy.html>) に定めています。

## I.取組前の宣言内容

宣言	目標	読書の楽しさ・読書の習慣・読書力 ～密の回避・手指消毒の徹底～
	取組期間	令和3年4月13日 ～ 令和3年11月30日

※令和3年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和3年11月30日までの取組みとする。

## II.取組後の評価

評価	取組人数	559人	実施日数	196日	読書冊数	54,927冊	連携した団体数	2団体
	取組内容 (概要)	<p>① 読書の楽しさ ～ストレスが解消される・癒しの時間～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間目標冊数：高学年50冊・低中90冊</li> <li>・季節や行事などに合わせたブックリストコーナー</li> <li>・密を回避した図書員委員会のイベント開催（しおりコンクール）</li> </ul> <p>② 読書の習慣 ～想像力が磨かれる・朝読書～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PTAによる読み聞かせ</li> <li>・児童朝会（図書委員会による学年別多読賞の紹介）</li> <li>・朝読書（精神的なゆとりが生まれ、心が落ち着き、集中力が高くなる）</li> </ul> <p>③ 読書の力が身につく ～脳の活性化・知識が増える～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞コーナー・新刊の紹介コーナー・SDGsの紹介コーナー・図書館だより</li> <li>・学年別貸し出しが多かった本の紹介・密を回避した図書室利用の時間割作成（上学年1時間：貸出冊数3冊・下学年2時間：貸し出し冊数2冊）</li> </ul>						
工夫したこと	<p>① 読書の楽しさを体験する機会を増やす工夫。昨年度から新型コロナウイルス感染症予防対策で図書室利用をする際に、入室人数（およそ1クラス分）を設定した。それに伴って、一人当たりの1年間の貸し出し冊数も高学年50冊・低中学年90冊と設定した。今年度も児童にとってストレス解消ができる場所の一つとなるように環境整備を行った。子ども達の癒しの時間とように図書委員会をはじめ司書補の先生と連携し、行事イベントやブックリストコーナー等の充実を図った。出入り口付近にブックリストコーナーや本棚の向きを出入り口に向かって設置したことにより短時間で本が選べるよう工夫した。今年は、司書補お手製の癒しグッズも配布した。図書館まつりでは、【6月・10月】もできるだけ多くの児童が安全に参加できる「低学年用絵本の読み聞かせ動画」や「しおりコンクール」を計画した。</p> <p>② 児童の想像力が磨かれる朝読書の工夫では、今年度も朝読書の時間や秋のおはなし会に、密を回避した環境の下、PTAの読み聞かせを3回実施した。</p> <p>③ 読書力が身につく場の提供として、「新聞コーナー」・「新刊の紹介コーナー」・「SDGsの</p>							

	<p>紹介コーナー」を設置。児童朝会（図書委員会担当）学年別貸し出し冊数ランキングや本の紹介クイズ・図書室利用の再確認の場とした。また、蜜を回避した図書室利用の時間割作成（上学年 1 時間・下学年 2 時間）・1 回の貸出冊数（上学年 3 冊、下学年 2 冊）の工夫。</p>
<p>取り組んだ感想</p>	<p>今年度も職員の共通理解を下に、多方面にわたり創意・工夫をしたことで昨年度よりも多くの児童が図書室を利用することができた。また、新型コロナウイルスの感染状況（ステージレベル）によって、図書室の入室者数や利用時間を細かく改善し、全職員・児童への呼びかけに努めた。その甲斐があり、現時点で昨年度よりも貸し出し冊数も伸びている。この状況の中でも、子ども達一人ひとりが安心できる環境が提供でき、貸し出し業務を行うことができた。今年度も職員の理解・指導と子ども達の手洗い・消毒の徹底に協力してくれたことに感謝している。また、読書感想文や読書感想画でも、今年では地区・県で入賞する児童も多くおり、この結果から読書推進活動を進めることができたと考えている。</p>
<p>これまでの取組や今後の取組予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>読書の楽しさを経験する機会を増やす工夫</b>        今年度は、ストレス解消ができる場となるように環境整備の充実を図った。出入り口付近にブックリストコーナーを設け、本棚の向きを出入り口に向かって設置したことにより短時間で本が選べるよう工夫したことで、多様な本の種類に触れる機会が増えた。また、子ども達の癒しの時間とように図書委員会が行事イベントに力を入れ、司書補お手製の癒しグッズ（季節の押し花しおり・ハロウインの飾り・飛び出すしおり等）を配布したことで低学年の利用者数が増加し、週に何度も利用する児童や本の内容について尋ねる児童も多くなった。</li> <li>・ <b>図書館まつり【6月・11月】の実施。</b>        できるだけ多くの児童が安全に楽しく参加できるよう内容を精選し、6月には、「低学年には、絵本の読み聞かせ動画」配信・「中・高学年には、夏のおすすめの本紹介をランキング」形式を実施した。また、11月は「オリジナルデザインしおりコンクール」を実施した。参加者全員にプラス券の配布や入賞者に賞状と副賞（手縫いのブックバンド等）を手渡した。</li> <li>・ <b>PTA による児童の想像力が磨かれる朝読書</b>        本の読み聞かせ（9月24日・10月22日）、秋のおはなし会（11月15日）蜜を回避した環境の下、PTAによる本の読み聞かせを実施したことで、精神的なゆとりが生まれたり、児童の気持ちが落ち着いたり、情緒の安定がみられる児童が多かった。</li> <li>・ <b>図書館だよりと読書力が身につく場の提供</b>        「SDGs 等時事ネタの紹介コーナー」を新設置。「新聞・新刊の紹介コーナー」等を図書館だよりで情報を発信し、児童の興味・関心を高めた。読書感想文で取り上げる児童がいた。</li> <li>・ <b>児童朝会の活用</b>（図書委員会の発表：全校動画配信）        学年別貸し出し冊数や本の紹介クイズ・図書館祭りの紹介図書室利用の再確認の場とした。</li> <li>・ <b>図書館の環境整備の一環（時間割の作成）</b>        新年度に蜜を回避した図書室利用の時間割作成し、職員会議で提案した。内容は以下の通りである。【但し、新型コロナウイルスの感染状況（ステージレベル）によって随時変更】        ①利用時間【上学年 1 時間-下学年 2 時間】②1 回の貸出冊数【上学年 3 冊-下学年 2 冊】        ③昼休みの利用【上学年：月曜日・水曜日・金曜日、下学年：火曜日・木曜日】</li> <li>・ <b>今後の取組み予定</b>        図書委員会と司書補との連携を図り、児童への読書活動の推進のさらなる向上に努める。</li> </ul>

①読書の楽しさを体験する機会を増やす工夫



②6月・11月図書館まつりの内容と審査の様子



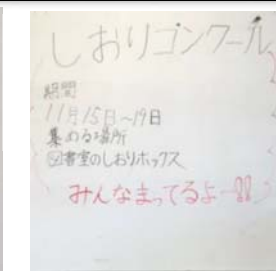
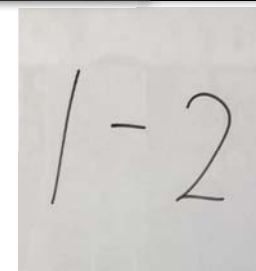
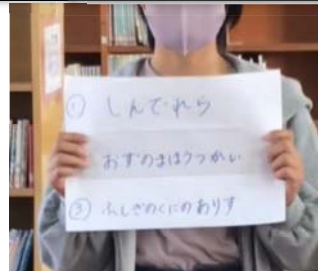
③PTAによる朝読書・秋のおはなし会の様子



④図書館だよりと読書力が身につく場の工夫



⑤児童朝会（図書委員会動画発表）の様子



⑥図書館の環境整備

